

# 神杉まちづくりビジョン

(帰ってきたい・住んでみたい・住んで良かった神杉)

人と想いが繋がり  
未来に向けた持続可能なまちづくり



神杉まちづくりビジョン策定委員会

2006年(平成18年)3月策定

2014年(平成26年)7月改訂

2025年(令和7年)10月改訂

## はじめに

### 『神杉まちづくりビジョン』策定にあたって

地方の現状として、若者の都会への転出が進み、出生率も下がり人口減少に歯止めがかからない状況で、地域産業などの衰退により地域疲弊が危惧されている状況です。

地域は「人間の生活の場」であることから、住民の参画により、地域の実情に応じた住民のニーズを充たす施策を実現し、住民生活が向上するよう地域経済の持続的発展を図ることが必要です。

安心して子育てができるまち・若者が希望のもてるまち・高齢者がいきいきとして暮らせるまちづくりを目指して、住民自らが日常生活の中における地域の共通した課題についてみんなで協議・検討する仕組みとルールを作り、少子・高齢化社会に対応した総合的な地域活動を推進することで、持続可能な地域を目指す必要があります。

そのために、お互いに神杉地域活性化の夢とビジョンを語りながら、【人と想いが繋がり、未来に向けた持続可能なまちづくり】を実現していくため、神杉の将来を見据えた神杉まちづくりビジョンを策定するものです。

## 地域の概況

旧神杉村は、1889年(明治22年)に、廻神・高杉・江田川之内の3村が合併し、廻神と高杉の一字ずつをとって神杉となりました。

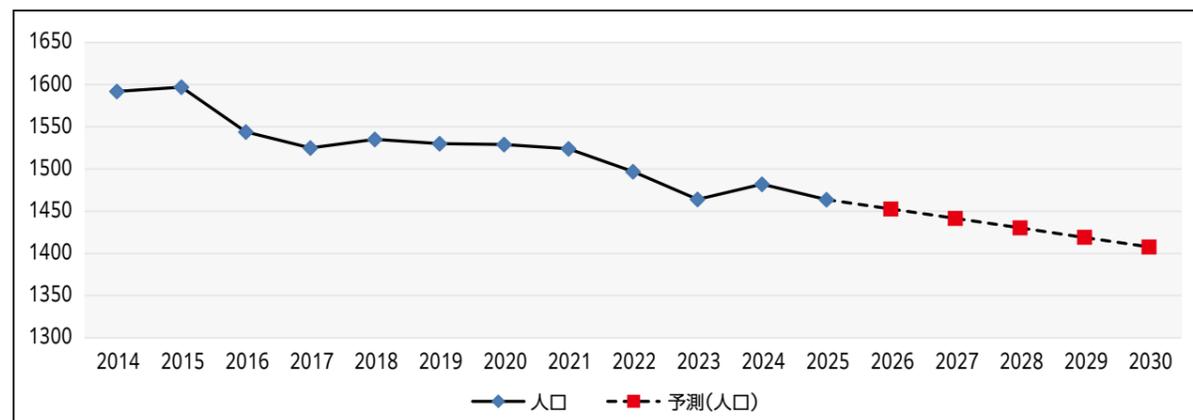
平成16年4月、三次市・双三郡・甲奴郡甲奴町が合併し、新生三次市が誕生しました。

神杉地域は、三次市のほぼ中央部に位置し、近隣にはみよし運動公園、きんさいスタジアム、広島三次ワイナリー、奥田元宋・小由女美術館などの観光資源や三次中央病院、三次工業団地などにより、利便性のよい環境となっています。交通網は、国道184号線、国道375号線を結ぶ備北農道があり、アクセスも良く、多くの人が利用されています。三次市は、松江―尾道間の高速道が整備され、中国地方の中核となりつつあります。

人口は、2014年(平成26年)4月1日現在1,592人、591世帯でしたが、2024年(令和6年)4月1日現在1,487人、606世帯。10年で105人減、15世帯増、1年では約11人が減っている状況です。

今後、高齢化が進むことによる人口減少が課題となっていますが、静かできれいな里山づくりを行うことで住みやすい環境を整え、地区外よりの転入者の増加や神杉で生まれ育った人が、「サケの習性のように生まれた場所へ戻る」ように地元へ戻って来ることで、人口の減少に歯止めがかかることに期待をします。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
人口	1,592	1,597	1,544	1,525	1,535	1,530	1,529	1,524	1,497	1,464	1,482
世帯数	591	594	588	594	601	600	606	604	599	598	606



川と盆地に恵まれた三次地域は、農耕や住居に適し、交通の要衝として栄えてきました。中でも広島県立歴史民俗資料館があるみよし風土記の丘は、多くの古墳群があり『弥生・古墳時代』の繁栄を物語っています。神杉は歴史豊かな地区で『日子穂々出見尊天下り伝説』は有名です。

また毛利氏と尼子氏の合戦で落城した県史跡の高杉城跡には市の重要文化財の知波夜比古神社があります。

神杉の基幹産業は農業であり、稲作を中心に野菜・大豆・果樹などが生産されています。JAひろしま三次東支店・三次地域営農経済センター・集約倉庫・JAグリーンなど本市の営農の拠点施設が当地区に整備されています。

県下初の圃場整備に取り組み、平坦な水田が広がり農業振興が進められました。しかしながら社会情勢の変化や米の生産調整で専業農家や農業従事者は減少し、加えて少子高齢化の進行により、農業後継者の育成は深刻な課題となっています。

自治活動は、神杉コミュニティセンターを核として、同じ敷地内にある神杉保育所・神杉小学校と協力して『人と想いが繋がり、未来に向けた持続可能なまちづくり』を基本目標に、各分野において活動が展開されています。

神杉地区自治会連合会は、地域振興の情報発信や地域住民が笑顔で触れ合い、安全・安心で住みやすいまちづくりを目指し、各自治会と連携し、活動を進めております。



烏帽子岩



知波夜比古神社



足留神社



かみくん



すぎっこちゃん

# 人と想いが繋がり 未来に向けた持続可能なまちづくり

## ① 安全・安心な環境づくり

- 災害に強いまちづくり
- 安全・安心を担うまちづくり
- 美しい(里山)まちづくり
- 気軽にふれあい・相談できる場所づくり

## ② 次世代を担う人材育成

- 地域の歴史資源の継承
- 子ども(学校・PTA)との思い出づくりの推進
- 子どもたちの自然の中での体験推進
- 世代間交流の推進

## ③ 商業・農業などの産業推進

- 特産物の開発
- 古民家の活用
- 市民農園の推進
- 神杉特産品の情報発信

## ④ 定住のまちづくり

- 空き家・空き地の活用
- 協調性の推進
- 集いの場所の推進
- 拠点施設の整備
- 地域情報の発信を推進

## ⑤ 高齢者のおたっしゃ度向上

- 高齢者支援の充実
- 相談できる仕組みづくり
- 集いの場所の推進
- 高齢者の人材活用と生きがい対策推進

## ① 安全・安心な環境づくり

### 基本施策

地域住民が笑顔で神杉に住み続けられるよう、物理的・心理的に安全・安心して暮らせる環境をつくり、神杉の豊かな自然を守っていきます

### ★災害に強いまちづくり

- 災害に強い地域づくりのために、多角的なアプローチで防災対策を強化します
- 関係部署と連携しながら、住民参加型の訓練などで防災意識の向上を図り、災害に強い地域づくりを行います

### ★安全・安心を担うまちづくり

- 地域住民が安心して幸せに暮らせるために、支え合える魅力的な地域づくりをします
- 日常的な連携の充実を行い、神杉地域全体で子育てを行います

### ★美しい(里山)まちづくり

- 子どもたちが神杉を誇りに思えるように環境整備を行い、美しい地域にします
- 子どもたちが誇りに思えるような美しい神杉の自然環境を守り続けます

### ★気軽にふれあい・相談できる場所づくり

- 世代を超えて気軽に集える居場所を確保します



## ② 次世代を担う人材育成

### 基本施策

次世代を担う人材育成をすべく、若年層とのさまざまな交流を推進し、子どもたちが成長して他地域に出ても、また帰って来たいと思えるようなまちづくりを目指します

#### ★地域の歴史資源の継承

○各種媒体を駆使し、神杉の歴史を広く発信します

#### ★子ども(学校・PTA)との思い出づくりの推進

○地域住民が一体となった行事・イベントを推進します

#### ★子どもたちの自然の中での体験推進

○教育機関と連携し、神杉の魅力を継承します

#### ★世代間交流の推進

○神杉三大行事等を、子どもから高齢者が一体となり実施します



## ③ 商業・農業などの産業推進

### 基本施策

地域の自然環境と調和した持続可能な里山農業・産業を推進し、教育機関や企業と連携して環境教育や食育の場をつくります

#### ★特産物の開発

○地域資源を利用した農産物の生産や加工を推進します

#### ★古民家の活用

○古民家を宿泊施設や農業の拠点として地域の活性化や観光振興に利用します

#### ★市民農園の推進

○耕作放棄地や遊休農地を市民農園などに活用します

#### ★神杉特産品の情報発信

○SNSなどを利用して神杉の特産品のPRをします



## ④ 定住のまちづくり

### 基本施策

空き家・空き地の活用、コミュニティ施設の整備、住民同士の交流機会を創出します  
安心して暮らせる環境と地域の魅力を発信し、移住者が地域に溶け込める体制を整えます

#### ★空き家・空き地の活用

- 情報収集として、住民アンケートや聞き取り調査、外観確認を通じて空き家・空き地の状況を把握し、所有者へ活用意向を確認します
- 古民家の再生や休耕田の活用として、地元職人と連携し国や自治体の補助金を活用して再生を図ります
- 交流や教育・福祉を目的とした市民農園を創ります



#### ★協調性の推進

- イベントの継続として、定期的な行事を継続して実施します
- 防災訓練を地域活動として、助け合いの意識を育む訓練や、清掃・花植えを通じた協働を推進します



#### ★集いの場所の推進

- 交流の場づくりとして、世代を問わず集える場を設けます

#### ★拠点施設の整備

- コミュニティセンターを防災の拠点として早期改築し、避難所や備蓄倉庫を設け、バリアフリー対応や交流スペース、特産品販売・観光案内など地域振興の機能も充実します

#### ★地域情報の発信を推進

- SNSなどで地域の情報や活用事例、移住の魅力を発信します



神杉小学校・神杉保育所・神杉コミュニティセンター

## ⑤ 高齢者のおたっしや度向上

### 基本施策

住み慣れた神杉の地域で、いつまでも安心して暮らせるまちづくりをします  
核家族化、高齢化が進む中で、地域の人がつながり、支え合う体制をつくり、高齢者の方の持てる力を大切にして、希望をもっていきいきと生活が送れることを目指します

#### ★高齢者支援の充実

- 声の掛け合いや、神杉まるごと相談・見守り推進会議をとおして、地域で支え合う体制の整備をします

#### ★相談できる仕組みづくり

- 健康相談・生活相談などの困りごとの相談窓口を開設します

#### ★集いの場所の推進

- サロン・高齢者カフェを開設します

#### ★高齢者の人材活用と生きがい対策

- 高齢者の経験、技術を活用します



# 神杉マップ



0 1 2km



# 神杉よいところ

作詞 前原 豊／作曲 山下 栄子

馬洗の流れに時代を忘れ  
新緑むせぶ神杉は  
神が宿る我らが古里よ  
人の心をいついつまでも  
離れても恋しい故郷よ  
一度おいでよ  
一度おいでよ神杉へ

古墳群がる風土記の丘に  
立ちて古代を偲びつつ  
昔の暮らしの優雅さが  
夕日に映える七つ塚  
自然公園遊歩道  
一度おいでよ  
一度おいでよ神杉へ

霧立ちこめる陣山へ  
登りて南を見下ろせば  
辻塚 泉水 廻神  
東は高杉 川之内  
備後三次のよいところ  
一度おいでよ  
一度おいでよ神杉へ  
一度おいでよ  
一度おいでよ神杉へ

神杉地区自治会連合会に結集する各自治会・各機関・団体とともに、神杉の未来像の実現に向け、神杉のまちづくりにこのビジョンを活用していただきたいと思います。

## 神杉まちづくりビジョン策定委員会

委員長	山中 晴 芳	委員	今 田 直 樹	川 添 由起子
副委員長	三 原 明 美		日 熊 学	阪 本 誠
			片 山 瞳	
			有 田 新 治	福 永 栄 子



神杉地区自治会連合会  
ホームページ